



まつざき真琴

県議会ニュース

日本共産党

2014年
3月9日号
一般質問特集①

発行/日本共産党鹿児島県議団
〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 TEL/FAX 286-3977
E-mail kengidan@jcp-kagoshima.com HP <http://jcp-kagoshima.com>
★ブログ『まこっちゃんのいっぺこっぺ奮闘記』<http://matsuzakimakoto.synapse-blog.jp/>

ご意見・ご要望を
お寄せください

まつざき真琴県議は、3日に一般質問に立ち、安倍政権への評価や徳洲会グループの知事選支援、原発再稼働や特別支援教育の充実などについて、質問を行いました。その中で今回は、徳洲会問題について、お知らせします。

徳洲会グループ知事選支援

徳洲会から見返りの要請はなかったか

2004年の知事選挙の際、伊藤知事は、徳洲会のセスナ機で、徳田虎雄代議士（当時）の秀子夫人と共に奄美遊説を行いました。まつざき県議は、この問題を取り上げ、「利益供与ではないか」と指摘した上で、下記のように質問しました。

まず、伊藤知事が、2004年の知事選挙の際に、徳洲会から支援をもらうことになった経緯についてお聞かせください。

過去に、「保徳戦争」などで知られるように徳洲会グループが、選挙活動において、違法行為を行ってきたことについては、誰もが知る事実であります。自身の選挙において、その徳洲会から支援をもらうということについて、知事は当時、何の懸念も抱かれなかったのかお聞かせください。

これだけ、全面的な支援を行った徳洲会は、知事を利用しようとする意図はなかったのでしょうか。伊藤知事の側にそのような認識がなかったとしても、徳洲会側は、何らかの見返りを求めて選挙支援を行ったのではないかと思います。そのような事実はありませんでしたか、見解をお聞かせください。

●知事 「特段、問題はなかった」

知事は、「知事選では多くの方々に支援をいただいております。徳洲会もその一つ。特段、問題はなかった。」と答弁しました。

●まつざき 「県民への説明責任を 果たすべき。真摯な答弁を」

まつざき県議は、「知事も私も公職にある身として、社会的責任や道義的責任を有している。県民への説明責任もある。私は県民からの付託を受け、本会議で一般質問を行っている。真摯に答弁していただきたい」と知事に要請し、続けて下記の質問をしました。

谷山・県農業試験場跡地

徳洲会グループより 売却の便宜をはかることの要請はなかったか

県農業試験場跡地の問題について

2010年6月議会で、突然、この跡地を、医療・福祉施設として公募方式で売却する計画が明らかになりました。

6月に発表し、8月にコンペを行い、11月に売却先を決定するというスケジュール自体が、すでに売却先を予定して進められているのではないかと思います。思わざるをえないものでした。当時、大問題となり、この計画はいったん見送りになりました。

現在は、一般競争入札により売却されることになっており、徳洲会グループが購入の意向を示していることに、県医師会が懸念を示しており、売却の見通しは立っていません。



まつざき県議は、谷山の県農業試験場跡地の問題を取り上げ、「徳洲会グループから、選挙支援の見返りとして、この土地の売却について便宜を図ってほしいとの要請はなかったか」と質問しました。

知事は「そのような要請はなかった」と答弁しました。

まつざき県議は「鹿児島市内における県民の貴重な財産であるこの土地が、一個人、一団体の利益のためではなく、広く県民のために活用されることを願いものである。公平、公正な県政を求める」と発言しました。

